

第4学年 国語科学習指導案

学 級 4年1組 男21名 女13名

指導者 高橋 優子

学 級 4年2組 男20名 女14名

指導者 白畑 早希子

1 単元名 段落どうしの関係を捉え、説明のしかたについて考えよう

教材名 「アップとルーズで伝える」(光村図書4年下)

2 単元の目標

○写真と文章を対応させながら、進んで説明的文章を読もうとしている。

(関心・意欲・態度)

◎それぞれの段落が全体の中でどのような役割を果たしているかを考えながら読むことができる。

(読むこと(1)イ)

◎写真と対応した部分について注意して読み、「アップ」と「ルーズ」それぞれの特徴を整理している。

(読むこと(1)エ)

○指示語や接続語が文と文との意味のつながりに果たす役割を理解し、使うことができる。

(伝国(1)イ(ク))

3 単元の評価規準

関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
・写真と文章を対応させて、説明的文章に興味をもって読もうとしている。	・それぞれの段落の役割を、本文の内容から理解している。 ・写真と本文の対応関係を理解している。	・指示語や接続語が、文や段落の関係を示す手がかりになることを理解している。

4 単元について

(1) 児童について

児童は、3年生の「すがたをかえる大豆」で、中心となる語や文を捉えて段落どうしの関係を考えながら読むことや、写真と文章を対応させて読むことを学習した。さらに、4年生の「大きな力を出す」「動いて、考えて、また動く」では、事実と考えを読み分け、段落どうしの関係を考えることも学習している。児童は、学習意欲が高く、写真と文章を対応させて読む力や中心となる語や文を考えながら読む力は身につけてきている。

しかし、自ら要点をまとめたり、要点どうしを関連づけたりしながら段落どうしの関係を捉えていくところまでは至っていない。また、学習したことを自分の生活と結びつけて考える力も十分ではない。

(2) 教材について

本教材は、私たちが最もよく目にしているメディアであるテレビの映像技法を中心に述べた

ものである。児童にとって身近なテレビ、新聞が題材になっている点が、この教材の魅力の一つである。同時に、自らの知識や世界観を形成するにあたって、メディアからの影響をいやがおうでも受けるであろう児童らに、メディアを通じて受け取っている情報が、一定の価値判断・意図に基づいて取捨選択されたものであることに気づかせる内容でもある。

本教材の最大の特徴は、「写真と文章の対応」と「対比的な段落構成」である。写真と文章を対応させながら読み進めていくのだが、1枚の写真に一つの段落が対応しているため、対応関係が明快であり、写真と本文を見比べながら読むことが容易にできる。また、段落の構成についても、「アップ」で一段落、「ルーズ」で一段落、そのまとめに一段落と「対比してはまとめる」という明快な構成になっているため、段落をまとまりで分けたり、そのまとまりのつながりについて考えたりするのに適した教材だといえる。

(3) 指導にあたって

本単元では、「C 読むこと」の「イ 目的に応じて、中心となる語や文をとらえて段落相互の関係や事実と意見との関係を考え、文章を読むこと」「エ 目的や必要に応じて、文章の要点や細かい点に注意しながら読み、文章などを引用したり要約したりすること」や「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の「(1) イ (ク) 指示語や接続語が文と文との意味のつながりに果たす役割を理解し、使うこと」を指導事項とする。そこで、言語活動例「読むこと」「ウ 記録や報告の文章を読んでまとめたものを読み合うこと」を具現化し、「アップとルーズの写真が使われているねらいや良さを話し合おう」を言語活動として位置づける。学習材「アップとルーズで伝える」の学習において身につけた写真と文章を対応させながら段落の内容を読み、全体の組み立てを捉えたり、筆者がどのような意図で写真を添えたのかを考えたりする力を、話し合いに活かすことで、付けたい力の定着を図ることができると思う。

第一次では、単元のゴールのイメージを膨らませ、毎時間目的意識をもたせて学習に取り組むことができるように、テーマが同じで写真が異なる新聞記事を例として提示する。毎時間の導入では、この単元のゴールと本時の学習の関連を意識させながら、本時のゴールの明確化と既習事項の活用についての見通しをもたせ、学びの振り返りを裏付けるものとした。第二次の写真と文章の関係を読み取り、段落相互の関係を捉えさせていく活動では、自力解決やグループ学習、全体交流の場を設定する。自分の考えをもたせたり互いの意見の共通点や相違点に気づいて話し合ったりする活動を通して、段落と段落は互いに関係していることを捉え、簡潔に文章構成図にまとめることができるようにする。写真と文章を対応させて詳しくしていること、文末表現を工夫していることにも着目しながら説明の仕方の工夫や良さに気づかせ、それらを活用しようとする態度を育む。第三次では、写真と文章を対応させながら新聞記事を読み、全体の組み立てを捉えたり、筆者がどのような意図で写真を添えたのかを考えたりする力を、話し合いに活かすことで、付けたい力の定着を図っていききたい。

5 研究に関わる手立てについて

(1) 手立て1 身に付ける力を明確にした言語活動の工夫について

- ・子ども達と共に次時の学習課題を考え、学習意欲を高める。
- ・説明文の読み方に関する既習事項を整理し、本単元で学んだこととの違いを明らかにする。
- ・全体交流にどの子も自分の考えをもって臨めるように、授業の中に自力解決や友達との交流を位置づける。

- ・身に付ける力を教師と子ども達が共通理解できる振り返りシートを作成し、毎時間確認しながら活用していく。

(2) 手立て2 効果的な振り返り活動の工夫について

- ・本時で学んだ「まとめ」をもとに、今後の授業に生かせるような振り返りをさせる。
- ・内容が充実した振り返りを共有することで、振り返りの質を高め、友達の学び方を学ばせる。
- ・単元の振り返りを設け、単元を通して身に付けた力を再確認させる。

6 単元指導計画（8時間）

段階	時間	学習目標	学習活動	指導の手立て☆評価（方法）
つかむ (一次)	1	○アップとルーズの写真を見て、なぜそのような使い分けがなされているのかについて考えることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞記事の写真を見て、なぜ使い分けがなされているのかについて話し合う。 ・単元のゴールを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・なぜ使い分けがなされているのかについて自分の考えをもたせ、それら进行交流し、単元のゴールをイメージさせる。
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>〈単元のゴール〉 新聞記事などを読み、説明の工夫を見つけよう。</p> </div> ○「アップとルーズで伝える」を読み、説明のしかたの工夫に関心をもつとともに、学習の見通しをもつことができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・対比の関係について知る。 ・音読しながら段落を確かめて、写真に記号を付ける。 ・おおまかな学習計画を立てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・題名を例にして対比を用いた説明の工夫にふれ、学習したいことを明らかにさせる。 ・音読しながら段落を確かめ、写真に番号を付けさせる。 ☆写真と文章を対応させながら、進んで説明的文章を読もうとしている。 (発言・ワークシート)
わかる (二次)	2	○問いの文を見つけ、はじめ・中・終わりに分けることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・問いの文をおさえ、はじめ・中・終わりのまとまりを捉える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・問いの文をおさえ、はじめ・中・終わりのまとまりを確認する。 ☆はじめ・中・終わりの役割を理解し、文章を大きなまとまりで捉えている。 (発言、ワークシート)

3	<p>○写真と文章を対応させながら読み取り、各段落の役割や段落相互の関係を捉えることができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・写真と文章を対応させながら、各段落の内容を読み取る。 ・各段落の役割や段落相互の関係を捉える。 ・説明の工夫を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・写真と文章を対応させ、「アップ」と「ルーズ」の意味を捉える。 ・各段落の役割や段落相互の関係を理解し、文章構成図に表す。 <p>☆「アップ」と「ルーズ」の意味を理解し、説明の工夫を述べている。 (発言、ワークシート)</p>
4 (二組 本時)	<p>○写真と文章を対応させながら読み取り、各段落の役割や段落相互の関係を捉えることができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・写真と文章を対応させながら、各段落の内容を読み取る。 ・各段落の役割や段落相互の関係を捉える。 ・説明の工夫を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・対比しながら述べる説明のしかたを捉えさせる。 ・指示語や接続語に気をつけさせ、各段落の役割や段落相互の関係を整理しながら文章構成図に表す。 <p>☆対比しながら述べる説明のしかたが説明の工夫であることを理解している。 (発言、ワークシート)</p> <p>☆写真と文章の対応関係を理解し、説明の工夫を述べている。 (発言、ワークシート)</p>
5 (二組 本時)	<p>○筆者の考えと各段落がどのようにつながっているかを説明することができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・第7段落の内容を読み取り、なぜ必要なのかを考えることができる。 ・全文を読み返し、筆者の考えと各段落がどのようにつながっているかを説明する。 ・説明の工夫を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第7段落の必要性を問う。 ・文章構成図を見ながら、筆者の考えと各段落がどのようにつながっているのかを確かめる。 ・既習の説明文と比べながら、説明の工夫を考えさせる。 <p>☆筆者の考えと各段落がどのようにつながっているのかを考え、説明の工夫を述べている。 (発言、ワークシート)</p>
6	<p>○「アップとルーズで伝える」の説明のしかたの工夫をまとめることができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「アップとルーズで伝える」の説明のよさを書き出し、整理する。 ・今後の学習で活かしたいことは何かを交流する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの学習の中で見つけてきた筆者の説明の工夫を、全体で確認する。 ・「説明のしかたの工夫」が教材文のどこに具体的に表れていたかを説明させる。 ・今後の学習で活かしたい説明の工夫は何かを子ども達に投げかける。 <p>☆筆者の説明の工夫について具体例を挙げて説明している。 (観察・ワークシート)</p>

活かす (三次)	7	○新聞などを読み、説明の工夫を見つけることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・「コラム」を読み、写真と文章が対応していることの大切さを学ぶ。 ・自分達で集めた新聞などを読み、説明の工夫を話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞や雑誌など実物を確かめながら、「アップ」と「ルーズ」の使い分けや説明の工夫を捉えさせる。 ☆新聞などを読み、説明の工夫を見つけて友達に伝えている。
	8	<ul style="list-style-type: none"> ○前時に話し合った内容を交流することができる。 ○単元全体を振り返り、自分の学びを見つめ直すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前時に話し合ったことを発信したり、友達の考えに対する自分の考えを述べたりする。 ・単元全体を振り返り、「分かるようになったこと」「できるようになったこと」「友達から学んだこと」「次の学習に活かしたいこと」を整理し、交流する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを発信したり、友達の考えに対する自分の考えを述べたりする。 ・振り返りの項目に沿って、自分の学びを振り返らせる。 ☆友達の発表に対して、共感したり良さを見つけたりしている。

7 本時の指導 (2組 4/8時間)

(1) 目標

写真と文章の対応関係を理解し、説明の工夫を述べることができる。

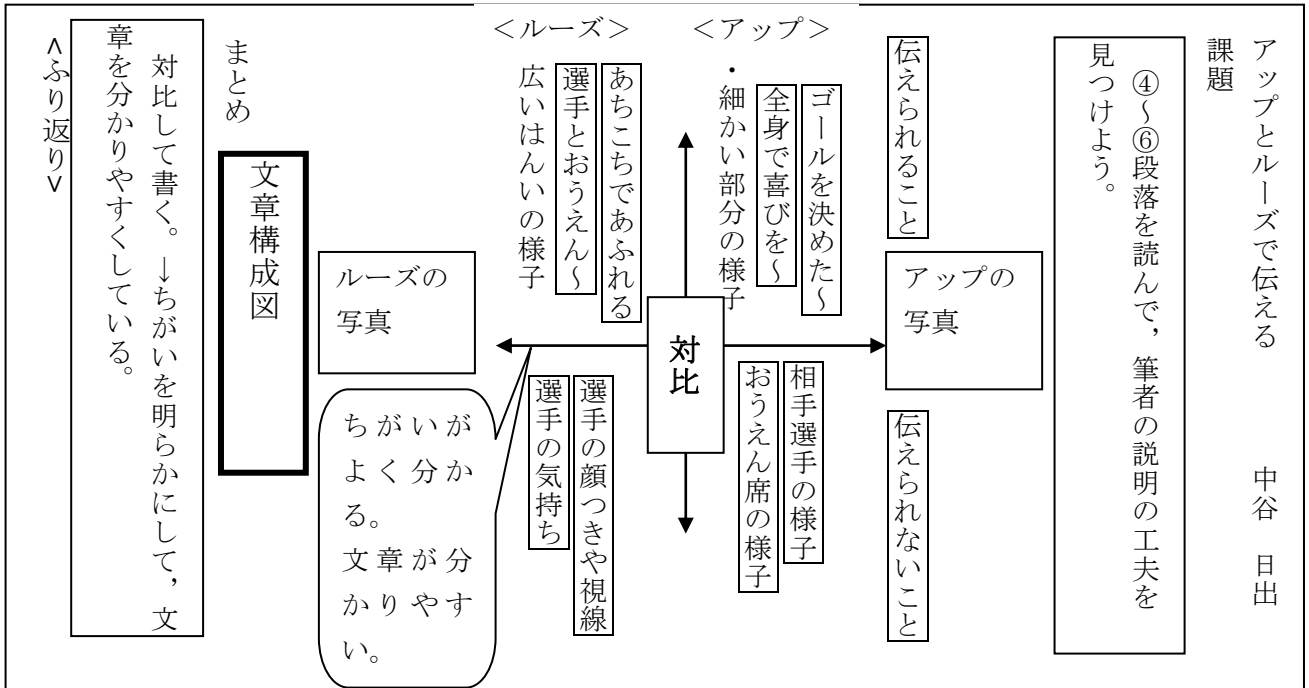
(2) 展開

段階	学習活動 ◆予想される児童の反応	○指導上の留意点 【評価と支援】
つかむ (5分)	<p>1 本時の学習課題をつかむ。 前時で学習したことを想起する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><学習課題> ④～⑥段落を読んで、筆者の説明の工夫を見つけよう。</p> </div> <p>◆第4・5段落には「アップ」と「ルーズ」のことが書かれていそうだな。</p>	<p>○前時の振り返りを紹介し、④～⑥段落の内容を捉えることを確認する。</p> <p><手立て2></p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>本時の学習のゴール「④～⑥段落を読み取り、筆者の説明の工夫を見つける」を確認し、そのためには、写真と文章との対応や、文末表現に気をつければよいことを確かめ、見通しをもたせる。</p> </div>
深める (33分)	<p>2 ④～⑥段落を音読し、第4・5段落と第6段落のつながりを捉え、文章構成図にまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音読し、④～⑥段落の内容やつながりを捉えて、文章構成図に表す。 ・第4・5段落の「アップ」と「ルーズ」の違いにサイドラインを引く。 <p>(自力解決)</p>	<p>○④～⑥段落に書かれている内容を確認し、前時の文章構成図を参考にしながら、文章構成図を考えさせる。</p> <p>○第4・5段落の文章を比較させ、共通点や相違点に気を付けてサイドラインを引かせる。</p> <p>○写真と文章を対応させ、指示語や接続語、文末表現に着目し、「アップ」と「ルーズ」の違いを捉える。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・「アップ」と「ルーズ」の違いを、伝えられること、伝えられないことに分けてワークシートにまとめる。（全体交流） <p>3 第4・5段落の対比について考え、筆者の説明の工夫を見つける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第4・5段落の文章の書き方で似ているところを見つける。（自力解決） ◆「見てみましょう。」や「よく分かります。」「分かりません。」が同じ。 ◆「しかし」、「でも」も似ている。 ◆同じ順番で書かれている。 ・対比することの良さについて考える。（自力解決→友達との意見交流→全体交流） ◆対比することで、「アップ」と「ルーズ」の違いが分かりやすい。 ◆写真も文章も対比の関係になっていて、説明が分かりやすい。 <p>4 まとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><まとめ> 対比して書く。→違いを明らかにして、文章を分かりやすくしている。</p> </div>	<p>○第4・5段落は対比の関係であり、対比させることで、二つの段落の違いがより明確になっていることについて捉えさせる。</p> <p><手立て1></p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>自分の考えをもてない児童は、意見交流で友達の意見と比べることで、自分の考えをつくりあげる手助けにさせたり、整理させたりする。また、自分の考えをもっている子は、意見交流で自分の考えを深めさせる。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【評価】 対比しながら述べる説明のしかたを理解し、段落相互の関係を文章構成図に表している。（発言・ワークシート）</p> <p>【支援】 「アップ」と「ルーズ」の違いを指示語や接続語、文末表現、写真に着目して見つけさせる。</p> </div>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">振り返る (7分)</p>	<p>5 本時の学習を振り返る。</p> <p><手立て2></p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><振り返りの観点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・今日の学習で分かったこと、できたこと ・これからの学習に活かしたいこと（友達から学んだこと） </div> <ul style="list-style-type: none"> ◆第4・5段落が対比の関係にあることが分かり、「アップ」と「ルーズ」の違いがはっきりと分かった。 ◆第6段落には「このように」とあったか 	<p>○本時の学習について振り返り、認め、励ます。</p> <p>○本時の学習の大切なことが一目見て分かるよう、板書を工夫する。</p> <p>○振り返りがなかなか書けない児童には、書き出しを提示して、考えの道筋をつくらせる。</p> <p>○早く書くことができた児童には、チャレンジとして「友達から学んだこと」も書くように指示する。</p>

<p>ら、第4・5段落のまとめだと分かった。</p> <p>◆友達と話し合いをして、対比して書くことによって、説明がより分かりやすくなることが分かった。</p> <p>5 次時の学習課題を考える。</p>	<p>○第7・8段落の内容と各段落の役割について考えることを確認する。</p>
--	---

(3) 板書計画



7 本時の指導（1組 5／8時間）

（1）目 標

筆者の考えと各段落がどのようにつながっているのかを考え、説明の工夫を述べるができる。

（2）展 開

段階	学習活動 ◆予想される児童の反応	○指導上の留意点 【評価と支援】
つかむ （5分）	<p>2 本時の学習課題をつかむ。</p> <p>前時までに学習した段落相互の関係を想起する。</p> <p>◆アップとルーズのちがいは、第6段落までで説明されている。</p> <p>◆今日は、第7段落の役割を考えていく学習だったな。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><学習課題></p> <p>筆者の考えと各段落がどうつながっているのかを考え、説明の工夫を見つけよう。</p> </div>	<p>○前時までに、アップとルーズの違いが明らかにされており、問いに対する答えは述べられていることを確認する。</p> <p><手立て2></p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>本時の学習のゴール「説明の工夫を見つける」を確認し、ゴールにたどり着くためには、第7段落が文章全体においてどのような役割を果たしているかを考えていけば良いという見通しをもたせる。</p> </div>
深める （33分）	<p>2 第7段落がなぜ必要かを考える。</p> <p><自力解決により></p> <p>◆第8段落では、テレビでも新聞でも・・・</p> <p>ということが最初に書かれているよ。</p> <p>◆違う事例が出されているね。</p> <p><友達との意見交流></p> <p>◆事例がいくつかあったほうが、よりわかりやすくなるんじゃないかな。</p> <p><全体交流により></p> <p>◆第7段落は、新聞という別の事例が挙げられ、筆者の考えを強めている。</p> <p>4 筆者の考えと各段落がどのようにつながっているかを説明する。</p> <p>◆テレビの事例について書かれているのは第1段落から第6段落まで。新聞について書かれているのが第7段落。</p> <p>◆第8段落は、2つの事例をまとめている。</p>	<p>○第7段落は、新聞というメディアが新たに切り上げられていることを全員で確認する。</p> <p>○自力解決が難しい児童も、友達との意見交流で自分の考えをつくっていけるよう配慮し、全体交流につなげる。</p> <p>○文章構成図と照らし合わせながら、どの段落も筆者の考えを読者に伝えるために書かれたものであることをおさえさせる。</p> <p>○第8段落の書き出しに着目させ、テレビでも新聞でも、という言葉がそれぞれどの段落と対応しているのかを考えさせる。</p>

	<p>5 説明の工夫を見つける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既習の説明文と比較しながら考えさせる。 ◆今までは、似たような事例が並んでいることが多かったね。 ◆違う事例を付け足すことで、説明がより詳しくなるんじゃないかなあ。 ◆違う事例も書かれていると、筆者の考えがより強く伝わってくるね。 <p>6 説明の工夫をまとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><まとめ> 説明の工夫③ 違う事例をつけたす。→筆者の考えにより説得力をもたせている。</p> </div>	<p><手立て1></p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>説明文の読み方に関する既習事項を整理して掲示し、本単元で学んでいる事例の挙げ方と比べながら、新たな工夫は何かを考えさせていく。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【評価】 筆者の考えと各段落がどのようにつながっているのかを考え、説明の工夫を述べるができる。</p> <p>【支援】 なぜ、筆者が新たな事例を加えたのか考えさせ、説明の工夫に結び付けていく。</p> </div>
<p>振り返る (7分)</p>	<p>7 本時の学習を振り返る。</p> <p><手立て2></p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p><振り返りの観点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・今日の学習でわかったことできたこと ・今後の学習に活かしたいこと(友達から学んだこと) </div> <ul style="list-style-type: none"> ◆違う事例もつけたして書くと、伝えたいことがしっかり読者に伝わるということが分かった。新聞などでもその工夫が使われているか探してみたい。 ◆第7段落がなぜ必要かが自分では思いつかなかったけど、〇〇さんが第8段落の書き出しがヒントになることを教えてくれていい考えが出た。これからは、段落のはじめに気をつけて文章を読みたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○振り返りがなかなか書けない児童には、書き出しを提示して、考えの道筋をつくらせる。 ○児童の学びを認め、励まし、達成感をもたせる。 ○「友達から学んだこと」についての振り返りも推奨し、集団で学習する良さや楽しさを実感させる。

5	次時の学習課題を考える。	○次時は、説明の工夫をまとめ、自分が次の単元で活用したい説明の工夫を紹介する学習であることを確認する。
---	--------------	---

(3) 板書計画

<p>アップとルーズで伝える</p> <p style="text-align: right;">中谷 日出</p>	<p>⑥ 筆者の考えと各段落がどうつながっているかを考え、説明の工夫を見つけよう。</p> <p>第7段落：新聞 アップやルーズの写真</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝えたい内容に合わせてどちらかの写真が使われている。 ・それらを組み合わせている。 ・目的にいちばん合うものを選んで使うようにしている。 <p>筆者の考え</p> <p>受け手が知りたいことは何か、送り手が伝えたいことは何かを考えて、アップでとるかルーズでとづかを決めたり、とったものを選んだりしている。</p> <p>テレビでも新聞でも、</p> <div style="border: 2px solid black; width: 100px; height: 100px; margin: 10px auto; text-align: center; line-height: 100px;"> <p>文章構成図</p> </div> <p>⑦ 説明の工夫③</p> <p>違う事例をつけたす。↓筆者の考えにより説得力をもたせている。</p>	<p>〈ふり返り〉</p>
--	--	---------------